

施政概要

(案)

令和6年第4回（12月）市議会定例会

四街道市

予定事項等が含まれていることや、11月21日時点の内容であることから、今後の状況により、内容を変更する場合があります。

【はじめに】

本日、ここに、令和6年第4回四街道市議会定例会を招集いたしましたところ、議員各位にはご参集をいただき、誠にありがとうございます。

本定例会に提案いたしました案件につきましては、よろしくご審議くださいますようお願い申し上げます。

それでは、施政の概要について申し上げます。

はじめに、本市の直面する重要事項への取組について申し上げます。

市庁舎整備については、9月28日に新庁舎落成記念式典及び新庁舎のシンボルツリーとなる寄附銘板の除幕式を挙行了しました。午後には市民向け内覧会を開催し、約1,900人と多くの皆様に新庁舎をご覧いただきました。そして、10月15日から新庁舎の供用を開始し、11月には本館の解体及び新館の大規模改修などを行う第2期工事に着手しました。

次期ごみ処理施設については、元年度から千葉地方裁判所において審理されていた「次期ごみ処理施設等用地を含む市有地における過剰な土砂の撤去等に係る費用並びに次期ごみ処理施設等用地及びその周辺における土壌汚染調査等に係る費用の支払いを求める訴え」につきまして、10月25日に判決が言い渡され、本市の主張が認められました。

都市計画道路の整備については、3・3・1号山梨臼井線整備事業において、第2工区の概略修正設計に係る測量を実施しています。

健康なまちづくりの推進については、健康増進法及び「第2次健康よつかいどう21プラン（改定版）」に基づき、望まない受動喫煙を防止するため、10月1日から公共施設敷地内全面禁煙を実施しました。併せまして、四街道駅北口及び南口広場内の喫煙所を撤去し、路上喫煙制限地区を全面禁煙としました。今後も子どもから高齢者まで、いつまでも健やかに暮らせる環境づくりに取り組んでまいります。

ふるさと意識の高揚については、本年2月に開催された第4回世界弓道大会において、優勝を果たした日本代表チームの一員であり、市職員でもある木川寿真さんに対し、その栄誉をたたえて市民栄誉賞を授与しました。

次に、物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金を活用した市独自支援策について申し上げます。

物価高騰の影響を受けた市民の生活を下支えするため、対象店舗において P a y P a y で決済をした場合にポイントを還元するキャンペーンを 10 月 1 日から 11 月末まで実施しています。

次に、分野ごとの主要施策について申し上げます。

【分野別の主要施策】

「安全・安心」の分野でございますが、防災対策については、庁内組織の防災対応能力を高めることを目的に、1 月に実施する震災対応に係る災害対策本部運営図上訓練に向け、準備を進めています。

地域防災力の向上については、11 月 24 日に行われました和良比小避難所開設・運営訓練において、各区・自治会の代表者を対象とした避難所運営に関する研修会を実施しました。

国民保護については、国民保護計画の修正案について、10 月に国民保護協議会での審議、パブリックコメントを実施しました。今後は、年度内の修正に向け、県との協議などを進めてまいります。

消防・救急については、市民の防火意識の高揚を図るため、11 月 9 日、10 日の両日、中央小学校を会場に「消防フェスティバル四街道 2024」を開催しました。放水やロープ渡りなど、体験型イベントを実施したほか、警察など他機関とのコラボレーションによる、働く車を展示したフォトスポットコーナーなどを設置し、たくさんのお子どもたちに楽しんでもらうことができました。

また、小中学生を対象に作品を募集し、「第 17 回防火ポスター展」を開催しました。応募総数 107 点の中から入賞作品 9 点を選考し、受賞者の表彰を行うとともに、受賞作品を市役所新庁舎 1 階市民ホールなどに展示しました。

生活安全対策については、交通安全意識の向上と交通事故の被害軽減を目的に、児童生徒が使用する自転車乗車用ヘルメットの購入費用に対する補助事業を新たに創設し、11 月 1 日から申請受付を開始しました。

「健康・福祉・子育て」の分野でございますが、高齢者福祉については、認知症予防の取組として、タブレットを使用した認知機能チェックと個別相

談を行う「タッチですこやか脳チェック」を新たに実施しています。また、フレイル予防教室において、低栄養予防、口腔機能向上、運動機能の維持、認知症予防や社会参加に関する知識の普及啓発に取り組んでいます。

子育て支援については、「四街道市こども計画」の策定に向け、こどもまんなか社会の実現を目指し、私自身も各施設等を訪問するなどして、子どもや子育て世帯などからいただいた意見を踏まえながら、策定作業を進めています。

若者の結婚支援では、10月26日にインターネット上の仮想空間であるメタバースを活用した婚活イベントを開催しました。今回のイベントでは、アバターと呼ばれる自身の分身を操作し、見た目にとらわれず、会話を通じた内面重視の交流を図り、4組のカップルが成立しました。

「教育・文化・スポーツ」の分野でございますが、学校教育については、キャリア教育の一環として、将来を担う中学生が、平和の大切さについて学び、考え、自分らしい生き方を見出し、行動する力を育むことを目的として、中学生10名を被爆地である長崎市に派遣しました。また、市内各中学校において、2年生を対象に、市内在住のパラリンピック入賞者である花岡伸和さんによる講演会「夢を育む授業」を実施しています。

「中学生が描く未来」の作文については、中学3年生が自らが思い描く「理想のまち」をテーマとした作文に取り組み、その中から優秀作品として選ばれた10作品の発表会及び表彰式を11月5日に開催しました。生徒の皆さんが作品に込めた四街道の未来への想いをしっかり受け止め、今後のまちづくりに活かしてまいります。

学校教育環境の整備については、南小学校校舎増築工事において、校舎棟の鉄骨工事が完了し、外壁及び内装工事を進めています。また、千代田中学校北校舎改修工事では、内部の改修工事は概ね完了し、屋上防水工事及び外壁改修工事を進めています。

家庭・地域・学校の連携については、学校と地域が目標や課題を共有しながら、より良い教育環境をつくることを目的に、栗山小学校と四街道北中学校にコミュニティ・スクールが新設され、各学校運営協議会において、学校運営の基本方針が承認されました。

青少年健全育成については、来年1月12日の「二十歳のつどい」開催に向け、実行委員会において式典内容の検討を行うなど、準備を進めています。

図書館の魅力向上については、リサイクル本を活用した「駅の図書館」や中央保育所に設置した「まちの小さな図書館」などを通じて、市民の図書館利

用の促進及び読書の推進を図る取組を進めています。

芸術・文化については、10月19日から11月4日まで文化センターを会場に市民文化祭を開催しました。大正琴、音楽、和太鼓、ダンスや舞踊などの発表会のほか、書道や写真、短歌等を展示し、市民相互の交流及び芸術文化活動の振興を図りました。

スポーツについては、スポーツの日の行事として、10月12日に総合公園体育館を主会場に「スポーツ de 健康大作戦」を開催し、体力測定や体験教室など様々な種目にチャレンジできるプログラムを実施しました。

また、11月17日には、「第3回四街道WALLABY RUN」を開催し、多くのランナーの皆さんが自然豊かな総合公園を駆け抜けました。

「くらし・環境」の分野でございますが、市街地の整備については、鹿渡南部特定土地区画整理事業において、組合による残工事が10月までに完了し、現在、換地計画策定に向けた出来形確認測量が行われています。

公共交通サービスについては、本市の交通施策に関する基本的な方針となる「四街道市地域公共交通計画」の策定に向け、公共交通に関する市民意識調査等を実施しました。10月には地域公共交通会議を開催し、調査等の結果を踏まえた課題の整理、計画の骨子案について協議を行いました。

ゼロカーボンについては、小中学校など17施設におけるLED照明への切り替え作業が10月までに完了し、公共施設50施設のLED化が全て完了しました。

環境保全・環境美化については、「第3次四街道市環境基本計画」の重点取組として位置付けた自然環境保全地区の選定に向け、環境審議会においてご意見を伺うとともに、環境保全団体と連携して、保全・活用の基本的な方針の検討などを進めています。

「にぎわい・共創」の分野でございますが、商工業の振興については、ものづくりをテーマに産業の垣根を超えた異なる分野の連携を推進することを目的に、10月5日、四街道工業団地において、コラボ採択事業である「よつかいどうユニバーサル工業フェスタ2024」が開催されました。

11月9日、10日の両日には、四街道中央公園を主会場に「第47回四街道市産業まつり」を開催しました。関係団体のご協力の下、農作物や商工業製品の展示、販売等を行い、多くの皆様のご来場をいただき、楽しんでいただきました。

魅力の創出については、まちに賑わいをもたらす新たなイベントとして、12月7日、8日の両日に、市役所及び中央公園周辺において、親子で楽しめる謎解きイベントを開催するための準備を進めています。

ダイバーシティについては、10月4日に姉妹都市のリバモア市から短期留学生20名、随行者5名、リバモア市長夫妻が来市しました。翌日には、四街道市国際交流協会主催による歓迎パーティーが行われるなど、ホストファミリーをはじめとする多くの市民との交流が深められました。来年3月には、本市から20名の短期留学生をリバモア市へ派遣する予定で、現在、準備を進めています。

最後に「行財政運営」については、総合計画におけるまちづくりの方向性を市民の皆様と共有し、ともに行動していくため、見やすく親しみのあるデザインとなるよう工夫したHAPPY SMILE PLANの冊子を作成し、概要版を市内全戸に配布するとともに、電子ブックを市ホームページに掲載しました。

以上、これまでの施政の概要について申し上げます。

今後とも、市民一人ひとりが幸せを実感でき、笑顔と笑顔がつながり合う明るい四街道をみんなで創るため、市民目線を大切に、市政運営に全力を注ぎます。

議員各位におかれましては、より一層のご理解とご協力をお願い申し上げます。ともに四街道を前に進めましょう。

令和6年11月25日

四街道市長 鈴木 陽介